cinemaz-life §§§§【カラフルタイムズ】映画を見て彩(いろどり)ある生活を§§§§ cinemaz-life

シネマズライフ

2017年11月3日発行 第134号　http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹(たかぎ) 諒音(りおん)

【最近のこれはお見事！】『南瓜とマヨネーズ』なんかややこしい三角関係のお話みたいだけど、全然関係なさそうな題名が面白い。

【最近のこれはまずいぞ！】『全員死刑』【死刑囚】獄中手記』が原作。一家全員が《死刑》というのは前代未聞でもあり、この題名ではこの凄さはまだまだ。相当イカれた一家が起した戦慄の殺人事件の犯人が書いた『我が一家全員死刑 福岡県大牟田市4人殺害事件

映画の風景　日本の風景

※ 別府 地獄めぐり（海地獄） ※

← 歌舞伎町一番街

『復讐するは我にあり』という映画があった。こんな映画だ。

昭和38年。たばこ専売公社の社員二人が死体となって発見された。多額の現金も強奪されており、犯人は事件後逃走した運転手の榎津巌に疑いがかかった。榎津は素行が悪く、全国に指名手配された。

実家は別府の温泉宿。敬虔なクリスチャンの父・鎮雄と母・かよ、そして妻・加津子と子供がいるが、たびたび重なる刑務所の入所で加津子は父・鎮雄に心酔、その為、二人の関係を疑っていた榎津は実家には帰らなくなっていた。

榎津は逃亡し続け、やがて浜松で小さな旅館に大学教授と偽り滞在、おかみは旅館を受人に任されているハルと母・ひさ乃で、ひさ乃は昔・人を殺しており榎津の異様な様子に気づいていた。やがて、ハルと榎津は関係を持つようになるが、ここにも手配がまわり旅館を出る。しかし彼の犯行は止まらず、老弁護士まで殺害。そんな榎津を八ルは受し続けるが、ある日、彼は意外な行動に出る…。

複雑な生い立ちとはいえ、凶悪犯罪を繰り返す男。

《復讐するは我にあり》とは聖書からの引用されていて、《復讐するのは神である》という事らしいが、キリスト教と関係ない殺された人達にしてみれば、災難でしかない。

別府の【地獄めぐり】は、別府温泉の源泉を【地獄】と見立てているもので、それぞれの【地獄】は見ているだけでも恐ろしい。

もちろん私が犯罪者を救ける訳ではないが、神だけに犯罪者の救きを任せるのはどうなのか？やはり、極悪人には【地獄】に行ってほしいと思うのは私だけ？

『復讐するは我にあり』1979年 日本　監督：今村昌平　原作：佐木隆三
出演：緒形拳 三橋達太郎 小川真由美 倍賞美津子 清川虹子 ミヤコ蝶々 白川和子 殿山泰司 絵沢萌子 根岸とし江 河原崎長一郎 加藤嘉 浜田寅彦 フランキー堺

実際に日本中を震撼させた《西口彰事件》を元にした同名小説の映画化。実際に犯人の実家は熱心なクリスチャンだったそうで、映画の題名は言いえて妙である。

コラム　とうとう台風の目に潜入した件

10月は毎週のように台風がやってきて、間の一週間はほとんど雨。買い物にも行けず、どうしても出かける時は、もう雨の中を強行突破！という感じで、気分的にうっとおしい。大きさは21・22日の21号は日本列島を覆いかぶさるような大きさで、まるでアメリカのハリケーン。日本も台風に怯える国になってしまったみたいですね。

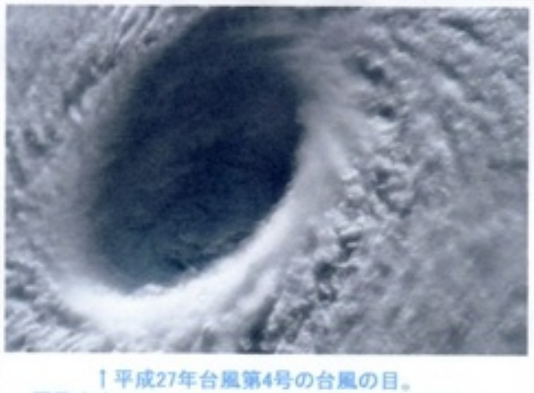
さて、この台風21号を名古屋大と琉球大などのグループが飛行機で突入。目の中の様子を撮影、気圧のデータ収集に成功したそうだ。アメリカには、車で台風を追いかけて観測するマニアみたいな人達もいるが、この試みは日本で初めて！だそうで、もっと以前にも観測しているのかなっと思っていたので、これは意外。

目の中はアニメの『天空の城ラピュタ』の雲の中と同じで、妙に感心。

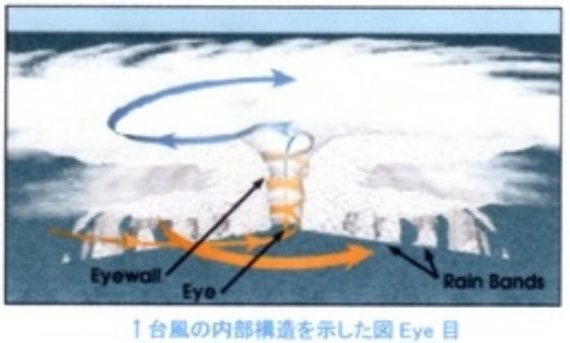
「目の壁雲（積乱雲）」が実にきれいでこれが浮かんでいれば『ラピュタ』になるんですね、きっと。

これから、日本も気候が変わり大型台風もたくさん来るらしい。きれいな台風の目がある台風は大きく、被害が増大する。

世界的にグローバルがいいなんて言われているが、これは遠慮したいものなのだが…。



↑平成27年台風第4号の台風の目。
国際宇宙ステーションにて、2015年3月31日撮影。



↑台風の内部構造を示した図 Eye 目
Eyewall 目の壁、Rain Bands 降雨帯

Wikipediaを参考にさせていただきました。m(_ _)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『世にも怪奇な物語』

スターチャンネル

1967年 フランス イタリア

監督 :ルイ・マル ロジェ・ヴァディム フェデリコ・フェリーニ

出演:アラン・ドロン ブリジット・バルドー ジェーン・フォンダ ピーター・フォンダ テレンス・スタンプ

11月4日(土) 25:30 ⇒ 11月5日(日) 1:30【チャンネル2】
11月27日(月) 9:10 【チャンネル2】
12月5日(火) 9:45 【チャンネル2】
12月15日(金) 16:15 【チャンネル2】
12月21日(木) 28:40 ⇒ 12月22日(金) 4:40【チャンネル2】

《黒馬の哭く館 ロジェ・ヴァディム監督》伯爵家の令嬢フレデリックは莫大な財産でわがまま放題の生活を送っていたが、ある日、幼い頃育った城に移り住む。だが、男爵家のウィルヘルムはわがままな彼女に批判的だ。しかし、フレデリックは彼が気になり、告白するが拒否される。怒りに燃えた彼女はある日…。

《影を殺した男 ルイ・マル監督》ウィリアム・ウィルソンは残酷な男だったが、同じ名前の男が彼の行動の邪魔をしていた。ある日、彼を見つけたウィリアムは…。

《悪魔の首飾り フェデリコ・フェリーニ監督》落ちぶれたスター俳優が、復活の機会を得るが度々幻影に惑わされる…。

フランス・イタリアの名監督３人のオムニバス。幻想的な物語を各国のスターが演じます。やっぱり若い頃のアラン・ドロンはいい男です。

『ミス・ペレグリンと奇妙なこどもたち』

スターチャンネル

2016年 アメリカ

監督:ティム・バートン 原作:ランサム・リグズ

出演:エヴァ・グリーン エイサ・バターフィールド テレンス・スタンプ

11月4日(土) 21:00 【チャンネル1】
11月5日(日) 21:00(吹) 【チャンネル3】
11月7日(火) 11:30 【チャンネル1】
11月9日(木) 14:30(吹) 【チャンネル3】
11月17日(金) 21:00 【チャンネル2】
11月18日(土) 12:00 【チャンネル2】
11月19日(日) 12:00(吹) 【チャンネル3】
11月20日(月) 16:40(吹) 【チャンネル3】
12月15日(金) 19:15(吹) 【チャンネル3】

フロリダに住むジェイクは、幼い頃からかわいがってくれていた祖父に、昔【奇妙なこども達】と暮らしていてモンスターと戦っていたという話を聞かされていた。ある日、１６才になったジェイクの元に、祖父から電話があり行ってみると「ある島へ行け」という不思議な伝言を残し死ぬ。そして、ミス・ペレグリンからの手紙を見つけ、父の協力をえて島へ向かうが島にはミス・ペレグリンの住む館は戦争の為無くなっていた。がっかりするジェイクだったが、翌日、再び館を訪れると館が存在しており【奇妙なこども達】とミス・ペレグリンが住んでいた…。また、【こどもたち】はそれぞれにある秘密を持っていて…。

ティム・バートン監督らしいファンタジー。

『ムトゥ 踊るマハラジャ』

1995年 インド

監督 脚本：K・S・ラヴィクマール

出演：ラジニカーント ミーナ サラットバーブ ラーダー・ラヴィ

大地主ラージャーに仕えるムトゥは、今日もご主人様のお供だ。ある日、ある村で旅芸人の一座に遭遇。ムトゥは舞台で踊るハメになったが、ラージャは一座の看板女優・ランガにひとめぼれ。ところがそこで騒動に巻き込まれムトゥは、ランガと逃げる事に、気の強いランガに辟易するムトゥだったが、とりあえずランガを屋敷に連れ帰る。

ランガにひとめぼれしていたご主人は大喜びだが、彼の母がなかなか結婚しない息子の為に叔父アンバラッタールの娘パドミニを婚約者としていたのだが、いきなり、ランガと結婚すると言い出したものだから、大騒ぎに。

そんな中、ムトゥとランガはお互いを気にするようになり、それを知ったラージャーは、叔父の告げ口もあり、屋敷を追い出されてしまう。ところが、実はムトゥにはある秘密が隠されていて…。

日本でインド映画ブームを引き起こしたマサラ・ムービー。いまでも、主演のラジニカーントはインドでもトップスターだそうだ。

なんといっても、すごいのは映画の大半を占めるダンスシーンでこれが無ければインド映画ではありません(笑)。

何故、ダンスシーンが多いのかといえばインドは貧民層が多く、憂さ晴らしは映画しかないという事だったが、近年は様変わりしているのではないだろうか？

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

☆次回発行は11月17日。発行予定は第一・三金曜日です。

【編集後記】

☆さて、また先週の続きで「来るぞ来るぞ来るぞ、来るぞ」と思っていたら、アメリカのトランプ大統領の娘・イヴァンカさんが来日。

そして、５日にはいよいよトランプ大統領が来日し、安倍総理とゴルフをするらしい。安倍総理と仲がいいらしいけど、難しいもあり、特に貿易摩擦話なんぞちょっとやそっとで解決しそうにない。しかし、日本も大変な事が山積み！よい方向に向いてほしいものです。

皆さまお元気でお過ごし下さい。m(_ _)m かしこ

シネマズライフ134号
発行人：貴樹諒音
発行日：2017年11月３日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフーcinemaz-lifeー １３４号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》
『ミス・ペレグリンと奇妙なこどもたち』
『世にも怪奇な物語』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆
お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

『オススメ犬映画』
http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。
cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社トゥ・ディファクト